ROTARY
Rotary International | One Rotary Center | 1560 Sherman Avenue | Evanston, IL 60201 USA

Media Contact: +1 847 866-3237
e-mail: pr@rotary.org
www.rotary.org

ニュースリリース

即日発表

連絡先： 田岡久雄　（電話：090-9118-9227、E メール： taoka@nike.eonet.ne.jp）
二神典子（電話：03-3436-6651、E メール：futagami@rotary-no-tomo.jp）
ハワード・チャン（米国、国際ロータリー世界本部）
（電話：1- 847-866-3408、E メール：howard.chang@rotary.org）

国際ロータリー次期会長の田中作次氏が野田総理と会談
ポリオ撲滅への日本のコミットメントを新たに

東京（2012 年 6 月 4 日）　国際ロータリーの次期会長である田中作次氏は、5 月 30 日、野田佳彦総理大臣を表敬訪問し、ロータリーの最優先目的であるポリオ撲滅に向けた、日本からの継続した支援を確認しました。

「申し上げるまでもなく、ポリオ撲滅は、わが国が引き続き支援を行っていく」と述べた野田総理は、2011 年 3 月に発生した東日本大震災後の復興に対して全世界から多くの支援が寄せられているのも、ポリオ撲滅活動など世界的な人道的問題に日本がこれまで懸命な支援を行ってきたからだと語りました。

日本は今日までに、世界ポリオ撲滅活動に、4 億 4,510 万ドル（336 億円）を寄付しており、この額は、世界ポリオ撲滅推進計画（GPEI）に寄付している公的機関の中で 3 番目に高い額となっています。世界中のロータリー・クラブはすでに、12 億ドル（953 億円）以上をポリオ撲滅活動のために寄付しており、日本のクラブは、6,400 万ドル（51 億円）以上を寄付しています。

「日本の支援がなければ、ポリオ撲滅活動はここまで進展しなかった」と話した田中氏は、「ポリオの発症数を減らすには、撲滅活動における日本の支援が非常に大きな役割を果たす」と述べ、ポリオという恐ろしい病との闘いにおける、日本政府の長年にわたるリーダーシップに敬意を表しました。

最近、世界保健総会で「ポリオ撲滅を達成することが世界公共保健上の緊急事態」であるという宣言が採択され、ポリオ撲滅は世界的な保健の優先項目となっています。1985 年にロータリーがポリオ撲滅活動を始め、1988 年に世界ポリオ撲滅推進計画の主要パートナーとなって以来、ポリオの発症数は、世界的に 99 パーセント減少しました（当初年間 35 万件だった発症数は、2011 年に 700 件以下に減少）。さらに、2012 年 2 月、これまでポリオの温床として知られ東南アジアで最後の野生ポリオウイルス常在国となっていたインドが、世界保健機関（WHO）によって常在国リストから除外されました。

現在、残されたポリオウイルス常在国は、アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンの 3 カ国となっていますが、その他の国々でも常在国からのウイルス流入による再発生の危険が

高まっています。このため、日本政府からの引き続きの支援は、この歴史的イニシアティブの達成に必要とされています（特にウイルス流入の危険の高い西・中央アフリカおよびアフリカの角地域）。

ロータリー会員は、世界各地で実施されるポリオの全国予防接種キャンペーンに自費を投じて参加しています。4 月には、愛知県のロータリアン 20 名が、予防接種キャンペーンのためにインドに赴き、5 歳未満の子どもにワクチンを投与する活動に参加しました。「今私たちは、25 年にわたる撲滅活動で初めて、あと少しでポリオを世界から撲滅できるところまで来ている。特に、インドが WHO によってポリオ常在国リストから除外されたことは、大変喜ばしいこと」と田中氏は述べました。

7 月 1 日からの 1 年間に田中氏が会長を務める国際ロータリーでは、200 以上の国と地域の事業と専門職のリーダー120 万人が、奉仕活動を通じ世界中の地域社会のニーズに取り組んでいます。

「ロータリーが引き続き、世界中の地域社会をより良くしていくための重要な存在であり続けることを望む」と語る田中氏は、1975 年以来のロータリアンで、国際ロータリーで日本人として 3 人目の会長となります。

ロータリーはまた、世界各地において地域に根ざした奉仕活動を行いながら、紛争や暴力の根底にある原因に取り組み、世界平和を推進しています。2002 年以来、ロータリーは世界の名門大学に拠点を置くロータリー平和センターで、平和と紛争解決における修士号取得プログラムを提供し、世界平和に貢献できる人材を養成しています。この平和センターの 1 つには、東京にある国際基督教大学も含まれています。また、タイのバンコクにあるチュラロンコーン大学では、平和と紛争解決分野における短期の専門能力開発プログラムが提供されています。

田中氏が会長となる次年度には、世界各地で 3 回のロータリー世界平和フォーラムが開催されます。ベルリン（2012 年 11 月 30 日～12 月 2 日）、ホノルル（2013 年 1 月 25～27 日）、広島（2013 年 5 月 17～18 日）という、歴史上重要な意味を持つ 3 都市で開催されるフォーラムでは、主に、未来と青少年に焦点が当てられます。

世界各地で活動するロータリー会員はまた、自然災害の際にも、いち早く救援や復興支援活動を行っています。2011 年 3 月に発生した東日本大震災後、ロータリーは 780 万ドル（6 億 1,580 万円）を集め、日本や太平洋諸国の被災地における長期的な復興活動を支援しています。

田中氏は 32 年間、家庭紙卸売の株式会社田中の社長を務めました。同社は 1995 年に株式公開され、大手の卸売業者と合併しました。昨年まで八潮商工会議所の副会長を経て現在は、家庭用品とペットフードの卸売業の株式会社あらたの相談役を務めています。

ロータリーは、200 以上の国と地域にある 34,000 のクラブで、120 万人の会員が活動する世界的な人道的団体です。事業と専門職、地域社会のリーダーから成る会員は、人道的奉仕を通じて世界をより良い場所にしていくことを共通の目的として活動しています。

新しい「未来の夢」計画の下、ロータリーは 6 つの重点分野（平和と紛争予防／紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展）を専門とする他団体と積極的に戦略パートナーシップを構築しています。

ロータリー会員によるポリオ撲滅活動を撮影したビデオや写真は、メディアセンターよりご入手いただけます。